

第9回企画委員会 会議録 2013/07/06 16:30～17:30 麻布大学 8604 会議室

出席者（あいうえお順 敬称略）： 皆上大吾 石川剛司 賀川由美子 児玉恵子 塚田祐介 古川敬之 保坂創史 細谷謙次 南毅生

議案

◇8回分のメインテーマについて

・原案は企画委員会および執行部からの提案を踏まえ作成された。学会にとって意義のあるものであれば変更は可能とのことであると企画委員に説明。

◇次回テーマの肝臓腫瘍について

- ・現時点での企画案では、臨床医には難しすぎるのではないか
 - ・肝臓腫瘍に対する動注化学療法や放射線治療についてはシンポジウムの教育講演ではなく症例検討などがよい
 - ・シンポジウムの内容は、腫瘍をこれから学ぶものと腫瘍診療を行なっている双方にとって有意義な内容としたい
 - ・診断手順や外科治療についてレクチャー形式をとるのが良いのではないか
- 以上の意見が出された。

午前中は疫学・病理で1名、診断面でX線・超音波、CT（MRI）で1名ずつ計2名、外科で2名（浅野先生、南先生に内諾を頂く）、肝臓の非腫瘍疾患と腫瘍性疾患の鑑別1名（今後の検討事項）の依頼をすることで方向性を確認した。

午後の症例・研究検討会については、今後、演題募集を各方面に打診すること、メール会議にて引き続きシンポジウム内容を検討していくこととした。

◇次回学会（大阪）の1日目について

午前中は外科部会の企画行なうことを確認した。

午後は、会場の部屋数の都合で、教育講演と一般口演の2会場で行なうことを確認した。

引き続き演題を募集していく

◇次回の企画会議について

動物臨床医学会で集まれる者で調整を測ることを提案。

基本的にはメール会議にて検討することとした。

◇医学との連携について

連携の取りやすい大学関係者から、候補者推薦頂けるか、またどのような分野で行なうかをメール会議で検討することとした。

◇今後の企画について

皆上先生から、臨床研究部会で部会主導の臨床統計のプログラムの協力を頂く提案があった。

企画委員会も協力し、実現して行く方向性を確認した。